

日本の水道をリードする

調査研究の推進 国際会議・研究発表

大阪市では、浄水処理や水質管理をはじめとする様々な水道の技術に関するものや、スマートメータ等のICTの活用に係るもの、経営に係るもの等、幅広い分野に対して積極的に調査研究に取り組んでいます。

また、研究成果については、海外で開催される国際学会や、日本全国で開催される研究発表会において積極的に発表することで、大阪市のみならず、国内外の水道へ貢献しています。



(ロサンゼルス(アメリカ)での
ワークショップ)



(北海道での研究発表)



(最適先端処理技術実験施設)

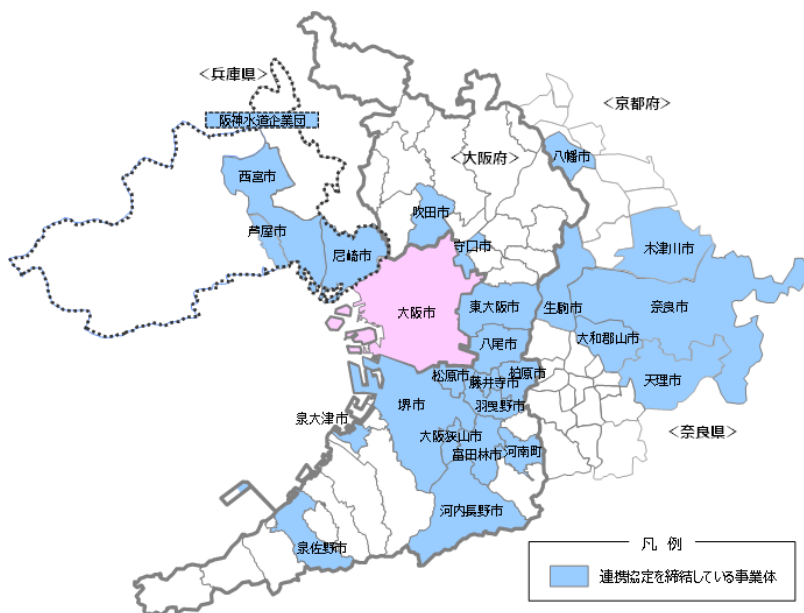


(国際水会議(香港)での
研究発表)

広域化の取り組み

大阪市では、水源から給水栓までのトータルシステムの事業運営で培った技術・ノウハウを活用し、近畿圏の水道事業体と連携協定を締結して、各事業体のニーズに合わせた技術支援を実施しています。

また、大阪市と守口市で連携して浄水場を共同化するプロジェクトを進めています。守口市の浄水場が更新時期を迎えることから、これを更新する代わりに、隣接している大阪市の庭窪浄水場を守口市と共同化して活用することとしています。守口市の施設更新費用を抑えつつ、庭窪浄水場に係る費用を守口市に一部負担いただくことで、双方にメリットのある取り組みを進めています。



(他の水道事業体との連携状況)



(守口市との浄水場共同化)

国際貢献

大阪市では、技術、ノウハウなどを有効活用し、アジアを中心とした国々の水道の改善に向けた支援を官民連携により取り組んでいます。

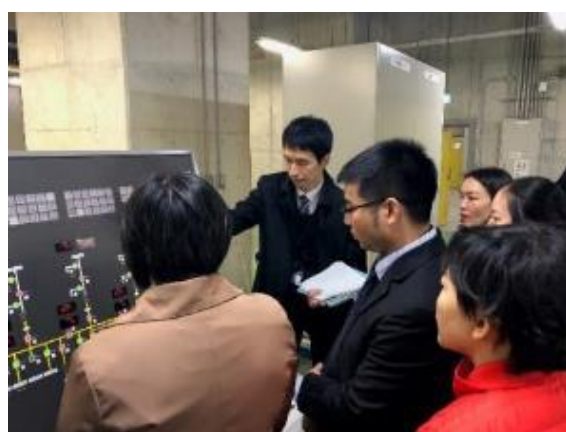
ベトナム・ホーチミン市の水道に対しては都市が成長していく過程で直面する課題を経験・克服してきた大阪市の技術・ノウハウを活用し、現地調査や技術提案を行ってきました。また、現地への渡航の他にもベトナムの水道関係者を大阪市の招いたり、Webミーティングを開催したりして、技術交流を行っています。

ミャンマー・ヤンゴン市に対しては現地へ渡航し、水道の改善に向けた支援ニーズの調査や今後の協力内容についての協議・意見交換を実施しました。

これらの成果を踏まえつつ、今後、開発途上国の水道を改善するプロジェクトを本格化させていく予定です。



(ベトナム・ホーチミン市に対する取組)



(ミャンマー・ヤンゴン市に対する取組)

被災地への応援派遣

水道局では、東日本大震災や平成30年西日本豪雨など、日本各地で発生した地震や風水害などの災害において、現地の水道が被災したことを受けて、水道のプロフェッショナルとして、支援隊を派遣し救援活動を行っています。



(被災地支援の様子)

日本の指針づくりへの参画

日本の水道に関する主な指針については、日本水道協会が開催する委員会において作成しています。大阪市では、これらの指針の作成や改定に係る委員会に職員を派遣しており、その技術力や経営ノウハウを日本の水道界に役立てています。

また、日本の水道行政を司る厚生労働省にも職員を派遣しています。



(日本水道協会で開催された各委員会の様子)